

化学発光・多重蛍光イメージャ ChemiDoc Touch MP 使用説明会

この度、8階顕微鏡室2(D81-05)に化学発光・多重蛍光イメージャ(BIO-RAD・ChemiDoc Touch MP)を設置いたします。つきましては、以下の要領で使用説明会を開催します。予約不要です。ぜひご参加ください。

令和4年9月20日(火)

日時

14:00 ~ 14:30 (予約不要)

会場

8階顕微鏡室2 (D81-05)

装置

化学発光・多重蛍光イメージャ
ChemiDoc Touch MP (BIO-RAD)

内容

実機を用いた使用説明 (マルチプレックスでの蛍光ウェスタンブロットティング、試薬・プロトコルなど)
説明会後にご希望の方は実験系の相談も承ります!

■ 蛍光ウェスタンブロットティングがもたらすメリット

これまでウェスタンブロットティングの検出には、高感度検出が可能な化学発光法が一般的に用いられてきました。しかし、近年ウェスタンブロットティング法を用いた実験では、複数のタンパク質を評価することが求められるようになっており、必ずしも化学発光法による検出が有効な方法とはかぎりません。というのも化学発光法を用い複数ターゲットを検出する場合、別々のメンブレンを用意する、メンブレンをカットする、ストリッピングやリブローピングの操作を行うなどの方法が用いられ、いずれも、操作の煩雑さ、再現性、定量性、時間、コスト等の問題があるためです。

その代替法として、複数のターゲットタンパク質を同時に検出することができる蛍光ウェスタンブロットティング法が認知されるようになりました。

蛍光ウェスタンブロットティングは以下の研究に最適です

- 同一サンプルから複数のターゲットタンパク質を検出している
- 定量解析を行っている
- リン酸化タンパク質の検出を行っている
- ランニングコストを抑えたい

蛍光ウェスタンブロットティング検出例 (3-Plex)

